



# Sta ★ At Pitch Report

第4回大会 報告書



第4回

スタートアップ・アツギベンチャーと企業をつなぐ

# スタ★アトピッチ Japan

スタートアップ

東京ブロック A

ビードットメディカル★古川 卓司氏



## 日常生活をそのまま送れるがん治療を実現



### 放医研のベンチャー制度で起業 ユーザー目線の装置を手掛ける

今回、グランプリを獲得したことで、思いもよらないところから多くのお祝いの言葉をいただきました。その影響力の大きさに驚いています。

当社では、超小型陽子線がん装置の製造・販売を行っています。スタートアップ企業の宿命で、知名度や信用度がなかなか高まらない課題を抱えていました。技術と製品には絶対の自信を持っているにも関わらず、それがストレートに伝わらない歯がゆさがありました。今回の受賞が日本経済新聞などで取り上げられたことは、どんな企業なのか、何を目指しているのかが広く伝わるきっかけになりました。非常にありがたく思っています。

私はもともと、放医研（放射線医学総合研究所）で、大手メーカーと重粒子線治療装置の共同開発などを行っていました。しかし、仕事にやり甲斐がある一方で、研究者として関わるには限界がありました。実際に治療する患者や装置を導入する病院のためにもっとできることがあるのではないかと考えて、なかなか

それを実現できない。もっと踏み込んだ形で、誰もが高度ながん治療を選べるようにするにはどうしたらいいのかを考え、2017年に放医研内のベンチャー制度を利用してビードットメディカルを立ち上げました。

祖父が従業員10人ほどの町工場を経営しており、「ものづくり」が小さい頃から身近にあったことも、起業した理由の一因だったかもしれません。

### 決勝大会で伝えたかったのは 技術力の高さよりも“思い”

私はこれまで、研究者として数多くの学会発表を行ってきました。「伝える」こ

とには慣れているつもりでしたが、それらは専門家に向けてのものでした。スタ★アトピッチJapanは、さまざまな業界、立場の方が参加する大会です。いかに自分たちの事業をわかってもらえるかに腐心しました。

ブロック大会では、陽子線治療のニーズの高まりを示すデータや、技術力を従来の装置と比較して数値で見せることに主眼を置きましたが、決勝大会では「思い」を伝えることに舵を切りました。現代は2人に1人が、がんになる時代です。当社が提供する超小型陽子線がん装置で、これまでの苦しいがん治療を、苦しくないものに変えたい。がん患者が、治療中も日常生活をそのまま送れるようにしたい。そういった思いをストレートに表現して、聴衆から応援してもらえるような発表を心がけました。

スタ★アトピッチJapanへの参加は、自身の経営や事業内容を見つめ直すいい機会になりました。大会ではアトツギベンチャーとして参加した製造業の方が、目線を変えてものづくりに挑戦している姿に刺激を受けました。当社でも、装置の部品を多くの町工場に制作してもらっています。どの会社にもストーリーがあり、一生懸命に取り組んでいることを改めて実感しました。

## 超小型の陽子線がん治療装置で 多くの人に苦しくないがん治療を届けたい



ビードットメディカル 代表取締役社長 古川 卓司氏

1978年東京生まれ。2004年に千葉大学大学院 博士（理学）を取得。同年、放射線医学総合研究所に入所。2011年、重粒子線治療装置開発のグループリーダーに就任。2017年に同研究所発のスタートアップとして、ビードットメディカルを設立。

スタートアップ

近畿ブロック

フツパー★大西洋氏



## 製造現場の目線でAIソリューションを提供

### いちばん喜んでくれたのは 社員たちとご家族

実は、他の発表者とその事業のレベルの高さから、決勝には進出できないと予想していました。今回の決勝進出、準グランプリ獲得には驚きと喜び、さらに1%くらいはグランプリを獲れなかった悔しさもありました。

受賞をいちばん喜んでくれたのは、社員とご家族です。決勝大会で受賞が発表された際、配信を見ていた社員たちから歓声が上がったようです。ご家族からも多くの祝福の声をいただきました。創業3年目の若い会社ですので、今回の評価が社員の自信と誇りにもつながると思います。

当社は製造業の現場の人手不足を解消すべく、AI画像認識を用いた外観・目視検査の自動化サービスを提供しています。審査員に製造業系の方が多く、当社の事業との親和性が高かったことも受賞理由に挙げられるかもしれません。事業の差別化のポイントは、クラウドではなく端末側でデータを処理するエッジAIのプロダクトを、中小製造業向けに展開していることです。製造業の現場ではAIをオフラインで使用できることが非常に重要なのです。汎用的なAIで一括りにせず、審査

### 外観検査自動化AIで、大阪から世界の製造業DXを加速させる



員の方々にこの点をしっかり評価してもらえたことはうれしかったです。

### 発表時間が短いからこそ 研ぎ澄まされた訴求になる

当社は、広島大学工学部時代の仲間である黒瀬康太（取締役兼COO）、弓場一輝（取締役兼CTO）と私の3名で立ち上げた会社です。ピッチの内容はこの3人で練り上げました。

スタ★アトピッチJapanの発表時間は4分。一般的なピッチコンテストと比べてかなり短い。事業内容をかみ砕き、コアとなる部分を端的に伝える必要があります。これが幅広い方々に向けて事業を訴

求する良い鍛錬になりました。

大会には、当社の社名入りの作業着で登壇しました。これには理由があります。創業当初の服装は、主にTシャツにジャケット。IT系スタートアップ企業の標準的なスタイルで仕事をしていました。あるとき営業が思うようにいかず悩んでいると、とある工場長から「服装がアカンねん」と指摘されました。「日本の製造業の人手不足を解消したい」と事業を始めたにも関わらず、自分がその外側にいたことに気づかされたのです。急いで作業着を購入し、今は当社オリジナルの作業着を着用しています。

スタ★アトピッチJapanへの応募を検討している方には、「絶対に挑戦すべき」と伝えたいです。他の参加者、多様なバックグラウンドを持つ審査員、一般視聴者の存在を通じて、幅広い視点と指摘が得られます。この点が、他のピッチコンテストと大きく異なります。規模やプロモーション効果、会場での交流から得られる人脈なども加味すると、国内にこれ以上のピッチコンテストはないかもしれません。結果以上に、まず出場してみることがとても大事です。

## エッジAIによる検査の自動化で 製造業の人手不足を解消する

フツパー 代表取締役兼CEO 大西洋氏

1994年兵庫県生まれ。広島大学工学部卒業後、日東電工に入社。1年で退社しイスラエルで起業を試みるも失敗。帰国後、AIエンジニアリングのWEBエンジニアを経て、広島大学時代の友人と共に2020年にフツパーを設立。



# スタ★アトピッチ Japan とは

さまざまな社会課題の解決に取り組むスタートアップ。伝統ある家業を承継しつつ、その革新に挑むアトツギベンチャー。

背景や目標の全く異なるこれらの2者が集い、同じ舞台上で技術、独創性、情熱などを競い合う。

スタアトピッチJapanは、そんな唯一無二のピッチランコンテストです。

第4回大会には、全国8ブロックから123社が出演。勝ち上がった22社により決勝大会が行われました。



第4回 スタ★アトピッチJapan

主催/日本経済新聞社 協力/日経トップリーダー



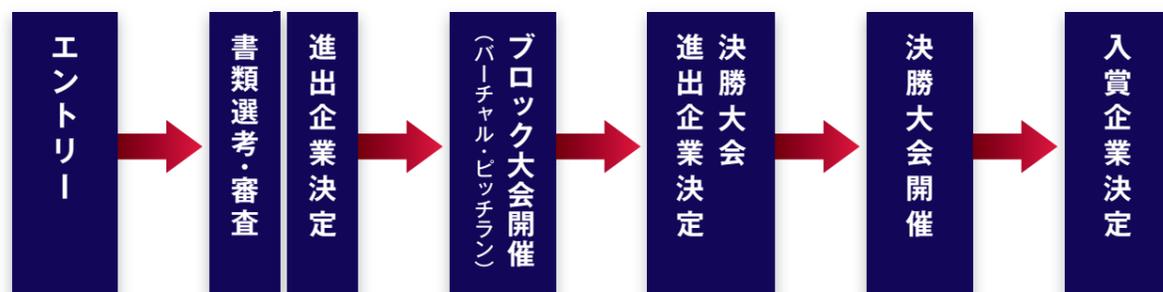
協賛/城南信用金庫、福岡ひびき信用金庫、千葉信用金庫、大阪信用金庫、きのくに信用金庫、盛岡信用金庫、金沢信用金庫

## 応募資格

スタートアップ部門 創業10年程度の未上場のスタートアップ企業・団体の経営者  
アトツギベンチャー部門 新規事業などに挑む家業のアトツギ経営者・候補者

## 開催の流れ

全国を8ブロックに分けたブロック大会を開催後、各ブロックの上位企業による決勝大会を開催しました。



## 決勝大会入賞企業

**グランプリ**  
スタートアップ 東京ブロック A  
**ビードットメディカル** (東京都江戸川区)  
古川 卓司 氏

PROTON for everyone  
陽子線がん治療を世界中に



**準グランプリ**  
スタートアップ 近畿ブロック  
**フツパー** (大阪府大阪市)  
大西 洋 氏

外観検査自動化AIで、  
大阪から世界の製造業DXを加速させる



スタートアップ部門 中部ブロック  
**ヘルスケアシステムズ** (愛知県名古屋市)  
瀧本 陽介 氏

生活習慣のミスマッチをゼロにする  
郵送検査サービス



アトツギベンチャー部門 近畿ブロック  
**早和果樹園** (和歌山県有田市)  
秋竹 俊伸 氏

産地継続の一助となる、  
「加工」を通じた地域貢献



野村証券賞 関東ブロック  
**木村製造所** (静岡県清水町)  
木村 寿利 氏

かたち拘る



りそな銀行賞 スタートアップ 東京ブロック A  
**グレイスグループ** (東京都渋谷区)  
勝見 祐幸 氏

異次元の少子化対策で  
真っ先に取り組むべきこと



オーディエンス賞 アトツギベンチャー 関東ブロック  
**シンメイ** (神奈川県横浜市)  
湯川 惣一郎 氏

世界中の食卓に笑顔の花を  
～唯一無二のパッケージJapanese Cultureおりがみの発展～

# 決勝大会進出企業

# ブロック大会

ブロック大会で高い評価を得た22社が、東京・日経ホールにて開催された決勝大会に進出。  
ピッチランと質疑応答によりグランプリをはじめ各賞が決まりました。

北海道ブロック	雪屋嶺山商店 (北海道美幌市)	スタートアップ
東北ブロック	テクノアート (岩手県一関市)	アツギベンチャー
関東ブロック	wash-plus (千葉県浦安市)	スタートアップ
	木村鋳造所 (静岡県清水町)	アツギベンチャー
	KB-eye (山梨県昭和町)	スタートアップ
	シンメイ (神奈川県横浜市)	アツギベンチャー
東京ブロック A	グレイスグループ (東京都渋谷区)	スタートアップ
	東京ロボティクス (東京都文京区)	スタートアップ
	ビードットメディカル (東京都江戸川区)	スタートアップ
東京ブロック B	ヴァンガードスミス (東京都港区)	スタートアップ
	デジタルワレット (東京都千代田区)	スタートアップ
	フォトラクション (東京都中央区)	スタートアップ
中部ブロック	ゼネラルヒートポンプ工業 (愛知県名古屋市)	アツギベンチャー
	ヘルスケアシステムズ (愛知県名古屋市)	スタートアップ
近畿ブロック	早和果樹園 (和歌山県有田市)	アツギベンチャー
	ナンガ (滋賀県米原市)	アツギベンチャー
	フツパー (大阪府大阪市)	スタートアップ
中国・四国ブロック	ウイズレイ (岡山県岡山市)	スタートアップ
	フジワラテクノアート (岡山県岡山市)	アツギベンチャー
	ユナイテッドシルク (愛媛県松山市)	スタートアップ
九州・沖縄ブロック	トイボ (福岡県福岡市)	スタートアップ
沖縄特別大会 ※	池田食品 (沖縄県西原町)	アツギベンチャー

※ 琉球新報主催「次世代うちなーイノベータープログラム スタ★アトピッチ沖縄特別大会」出場枠

# 全国8ブロックに123社が出場

第4回大会の総エントリー企業数は505社(前年比115%)。  
ブロック大会には、その中から書類選考を通過した123社が出場。  
各社のバーチャルピッチランを審査員が評価し、  
決勝進出企業を決定しました。



## ブロック大会審査員 ※肩書は開催当時

北海道 ブロック	杉村 逸郎 氏 北海道大学 産学・地域協働推進機構 産学連携推進本部 スタートアップ創出部門 部門長	中部 ブロック	河野 廉 氏 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 スタートアップ推進室 教授
	伊藤 博之 氏 クリプトン・フューチャー・メディア 代表取締役		宗平 光弘 氏 プロトベンチャーズ 代表取締役社長
	木下 勝寿 氏 北の達人コーポレーション 代表取締役社長		内海 龍輔 氏 サン電子 代表取締役社長
東北 ブロック	石倉 慎也 氏 東北大学 産学連携機構 スタートアップ事業化センター 企画推進部長 (特任教授)	近畿 ブロック	大野 淳平 氏 弁才天 代表取締役社長
	大山 健太郎 氏 アイリスオーヤマ 代表取締役会長		清水 速水 氏 大阪大学ベンチャーキャピタル 代表取締役
	赫 裕規 氏 高速 代表取締役社長		山野 千枝 氏 ベンチャー型事業承継 代表理事
関東 ブロック	片桐 大輔 氏 千葉大学 学術研究・イノベーション推進機構 (IMO) 特任教授	中国・四国 ブロック	中井 貫二 氏 千房 代表取締役社長
	櫻井 英治 氏 エラン 代表取締役会長CEO		熊谷 嘉延 氏 三喜商事 代表取締役社長
	野並 晃 氏 崎陽軒 代表取締役社長		金谷 元気 氏 akippa 代表取締役社長CEO
東京 ブロック A	松井 健 日本経済新聞社 日経産業新聞 編集長	九州・沖縄 ブロック	田原 栄俊 氏 広島大学 副学長 (産学連携担当)
	清水 洋 氏 早稲田大学 商学大学院 教授		民秋 清史 氏 モルテン 代表取締役社長 最高経営責任者
	只石 昌幸 氏 レバレッジ 代表取締役		佐々木 茂喜 氏 オタフクホールディングス 代表取締役社長
東京 ブロック B	土屋 尚史 氏 グッドバッチ 代表取締役社長	※全国のブロック大会は、北海道新聞、中日新聞、西日本新聞、神戸新聞、京都新聞との共催、中国新聞からの協力、沖縄特別大会は琉球新報の主催により実施致しました。	山下 俊一郎 氏 ムロオ 代表取締役社長
	小出 雄二 氏 桃屋 代表取締役社長		高田 仁 氏 九州大学 ロバート・ファン・アントレプレナーシップ・センター (QREC) センター長
	井上 徹 氏 横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 国際社会科学部門 教授		榎本 一郎 氏 福岡地所 代表取締役社長
	山本 正喜 氏 Chatwork 代表取締役CEO		黒木 哲史 氏 HYUGA PRIMARY CARE 代表取締役社長
	田中 敦史 氏 JTOWER 代表取締役社長		
	伊藤 暢人 日経BP 執行役員 経済メディア担当		

## 決勝大会進出企業コメント

### 生活習慣のミスマッチを ゼロにする郵送検査サービス



ヘルスケアシステムズ 瀧本 陽介氏

病気になると、身体の状態を調べた上で必要な治療法を選択します。一方で、予防や健康づくりにおいては、直観や体感で行動する機会が多いことに疑問を感じていました。当社のピッチを機に、自分の身体の状態を知ろうと思ってくださる方が一人でも増えることを願っています。いずれは、このヘルスケアモデル・ヘルスケアビジネスを世界に展開したいです。

### 産地継続の一助となる、 「加工」を通じた地域貢献



早和果樹園 秋竹 俊伸氏

大会出場の決め手は、当社の事業を広く伝えることで有田を盛り上げたい、そして日々忙しく仕事をしている社員のエンゲージメントを高めたいという思いです。自分たちの会社や仕事が、全国大会で評価されることはとても貴重な経験になります。また、普段は接点の少ないスタートアップの方々の気概を目の当たりにし、刺激をいただきました。

### かたちに拘る



木村鋳造所 木村 寿利氏

私たちは鋳物屋ですが、鋳物作りに固執してしまうと事業が拡大しません。模型技術やデジタル技術、3Dデータの作成など活動範囲を広げて、ものづくりのベースを支える陰の立役者のような存在に成長したいです。大会を通じて、「かたちに拘る」といっても現在の事業とはまた違った意味で、できることがあるのではないかと可能性を感じました。

北海道ブロック	
エアシェア (北海道帯広市)	スタートアップ
スマートリンク北海道 (北海道岩見沢市)	スタートアップ
すみか (北海道札幌市)	スタートアップ
雪屋嶺山商店 (北海道美幌市)	スタートアップ
東北ブロック	
クリエイト礼文 (山形県山形市)	アトツギベンチャー
テクノアート (岩手県一関市)	アトツギベンチャー
TOMUSHI (秋田県大館市)	スタートアップ
フーツラ (山形県山形市)	スタートアップ
MOVIMAS (岩手県八幡平市)	スタートアップ
リビングロボット (福島県伊達市)	スタートアップ
関東ブロック	
ICS-net (長野県長野市)	スタートアップ
アトムテック (神奈川県横浜市)	スタートアップ
アルガルバイオ (千葉県柏市)	スタートアップ
VIE STYLE (神奈川県鎌倉市)	スタートアップ
wash-plus (千葉県浦安市)	スタートアップ
塩山製作所 (山梨県甲州市)	アトツギベンチャー
オーラル28 (神奈川県相模原市)	スタートアップ
片岡バイオ研究所 (神奈川県伊勢原市)	スタートアップ
亀田産業 (栃木県宇都宮市)	アトツギベンチャー
木村製造所 (静岡県清水町)	アトツギベンチャー
KB-eye (山梨県昭和町)	スタートアップ
Qolo (茨城県つくば市)	スタートアップ
山翠舎 (長野県長野市)	アトツギベンチャー
ジェクスヴァル (神奈川県藤沢市)	スタートアップ
シンメイ (神奈川県横浜市)	アトツギベンチャー
SOXAI (神奈川県横浜市)	スタートアップ
ソルテック工業 (栃木県那須塩原市)	アトツギベンチャー
タイセー (千葉県鎌ヶ谷市)	アトツギベンチャー
パパラボ (静岡県浜松市)	スタートアップ
パリュソリユーション (神奈川県川崎市)	スタートアップ
バルスタック (千葉県千葉市)	スタートアップ
パンフォーユー (群馬県桐生市)	スタートアップ
farmo (栃木県宇都宮市)	スタートアップ
FUTURENAUT (群馬県高崎市)	スタートアップ
ラクモン (神奈川県横浜市)	スタートアップ
東京ブロック A	
R&Dゲート (東京都大田区)	スタートアップ
アイ-コンボロジー (東京都品川区)	スタートアップ
ヴェジスタ (東京都千代田区)	スタートアップ
グレイスグループ (東京都渋谷区)	スタートアップ
さくら製作所 (東京都品川区)	スタートアップ
タマチ工業 (東京都品川区)	アトツギベンチャー
東京ロボティクス (東京都文京区)	スタートアップ
ビードットメディカル (東京都江戸川区)	スタートアップ
ビッグアップルカンパニー (東京都中央区)	スタートアップ
Bleaf (東京都中央区)	スタートアップ
フォースプランナー (東京都葛飾区)	アトツギベンチャー
ブラセラム (東京都青梅市)	アトツギベンチャー
モノグサ (東京都千代田区)	スタートアップ
RevComm (東京都渋谷区)	スタートアップ
ユニテックス (東京都町田市)	アトツギベンチャー
Layer's Shift (東京都江東区)	スタートアップ
WAmazing (東京都台東区)	スタートアップ
東京ブロック B	
リクシス (東京都港区)	スタートアップ
RFルーカス (東京都渋谷区)	スタートアップ
Take Action (東京都品川区)	スタートアップ
ヴァンガードスミス (東京都港区)	スタートアップ
プリルズ (東京都港区)	スタートアップ
コバヤシ (東京都台東区)	アトツギベンチャー
新鮮ネットワーク (東京都中央区)	アトツギベンチャー
デジタルワレット (東京都千代田区)	スタートアップ
batton (東京都中央区)	スタートアップ

Pictoria (東京都中央区)	スタートアップ
ヒューマンライフコード (東京都中央区)	スタートアップ
VRC (東京都八王子市)	スタートアップ
フォトラクシオン (東京都中央区)	スタートアップ
Present Square (東京都中野区)	スタートアップ
ugo (東京都千代田区)	スタートアップ
ローランズ (東京都渋谷区)	スタートアップ
ロジック・アンド・デザイン (東京都新宿区)	スタートアップ
クオントディテクト (東京都千代田区)	スタートアップ
中部ブロック	
IP技研 (愛知県名古屋市)	スタートアップ
iBody (愛知県名古屋市)	スタートアップ
アラカン (愛知県名古屋市)	スタートアップ
OptFit (愛知県名古屋市)	スタートアップ
加賀建設 (石川県金沢市)	アトツギベンチャー
こみんぐる (石川県金沢市)	スタートアップ
ゼネラルヒートポンプ工業 (愛知県名古屋市)	アトツギベンチャー
ダイギ (三重県松阪市)	アトツギベンチャー
バームホルツ (愛知県犬山市)	スタートアップ
プロドローン (愛知県名古屋市)	スタートアップ
ヘルスケアシステムズ (愛知県名古屋市)	スタートアップ
水九印刷 (三重県四日市市)	アトツギベンチャー
musbun (愛知県名古屋市)	スタートアップ
丸菱製作所 (愛知県春日井市)	アトツギベンチャー
近畿ブロック	
いけうち (大阪府大阪市)	アトツギベンチャー
リュウ (大阪府大阪市)	アトツギベンチャー
エネコートテクノロジーズ (京都府久御山町)	スタートアップ
幸福ホールディングス (大阪府枚方市)	アトツギベンチャー
ゴールドストレージ・ジャパン (兵庫県神戸市)	スタートアップ
三陽工業 (兵庫県明石市)	アトツギベンチャー
シグマテクノロジー (大阪府大阪市)	スタートアップ
スパイスキューブ (大阪府大阪市)	スタートアップ
早和果樹園 (和歌山県有田市)	アトツギベンチャー
中川 (和歌山県田辺市)	スタートアップ
ナンガ (滋賀県米原市)	アトツギベンチャー
日本地域総合診療サポート (大阪府大阪市)	スタートアップ
フォロフライ (京都府京都市)	スタートアップ
フツバー (大阪府大阪市)	スタートアップ
GSアライアンス (兵庫県川西市)	スタートアップ
ミヤマエ (大阪府東大阪市)	アトツギベンチャー
ユニオンエタニティ (大阪府大阪市)	スタートアップ
レナートサイエンス (京都府京都市)	スタートアップ
ワントゥーテン (京都府京都市)	スタートアップ
AC Biode (京都府京都市)	スタートアップ
中国・四国ブロック	
アオン (山口県山口市)	スタートアップ
旭テクノプラント (岡山県倉敷市)	アトツギベンチャー
ヴェイエルシー (島根県松江市)	スタートアップ
ウィズレイ (岡山県岡山市)	スタートアップ
クリエ (愛媛県松山市)	スタートアップ
サンライン (山口県岩国市)	スタートアップ
ハマダ (広島県府中町)	アトツギベンチャー
FISTBUMP (香川県高松市)	スタートアップ
フジワラテクノアート (岡山県岡山市)	アトツギベンチャー
まるごと食品 (島根県江津市)	スタートアップ
ユナイテッドシルク (愛媛県松山市)	スタートアップ
九州・沖縄ブロック	
オングリットホールディングス (福岡県福岡市)	スタートアップ
EVモーターズ・ジャパン (福岡県北九州市)	スタートアップ
カムラック (福岡県福岡市)	スタートアップ
新米設計事務所 (佐賀県佐賀市)	スタートアップ
トイポ (福岡県福岡市)	スタートアップ
Buddycare (鹿児島県鹿児島市)	スタートアップ
早川しょうゆみそ (宮崎県都城市)	アトツギベンチャー
ひなたいちご園 (宮崎県宮崎市)	スタートアップ

【第4回大会進出企業内訳】 スタートアップ 92社 / アトツギベンチャー 31社

参加企業が4分間で、会社や事業にける思いを表現。

「スタ★アトピッチJapan」のホームページでは、ブロック大会に進出した123社のピッチランを公開しています。

**北海道ブロック**  
スタートアップ

**エアシェア**  
(北海道帯広市)

えっ!! 航空機のシェアリングってできるんだ!




**東北ブロック**  
スタートアップ

**TOMUSHI**  
(秋田県大館市)

昆虫の力でゴミを資源化し、世界の食料不足を解消する。




**関東ブロック**  
スタートアップ

**KB-eye**  
(山梨県昭和町)

映像解析AI警備で、犠牲者をゼロに。そしてより安全な社会の実現へ。




**東京ブロック A**  
アトツギベンチャー

**ユニテックス**  
(東京都町田市)

テープストレージが、未来を救う




**中部ブロック**  
アトツギベンチャー

**加賀建設**  
(石川県金沢市)

島国日本を守る『海の町医者プロジェクト』




**近畿ブロック**  
スタートアップ

**シグマテクノロジー**  
(大阪府大阪市)

シングルナノサイズの気泡でがん治療の未来を変える




**中国・四国ブロック**  
スタートアップ

**ウィズレイ**  
(岡山県岡山市)

薬剤師に光を! 革新的な調剤支援装置「コナミルPLUS」の開発




**九州・沖縄ブロック**  
スタートアップ

**トイポ**  
(福岡県福岡市)

店舗向けリピーター獲得サービス「toypo」




特別講演

# 「経営は自己責任」

カレーハウス CoCo壱番屋 創業者 **宗次 徳二氏**

経営者は姿勢が大切だ。誰よりも汗をかいて仕事をする。毎日コツコツと、まるで芸術作品を作るように働く。そうするうちに「こんなに頑張ったのだから、成功するはずだ」という自信が湧き上がってくる。まずは真面目に、真心を込めて仕事に取り組むことで、業績は上向くと思う。

飲食業において最も大切なのは、接客だ。お客様を第一に考え、感謝の思いを持ち続けること。当社が出前を開始したのも、混雑時に行列に並んでいただく負担を解消するためだった。

飲食業における知見は、積み上げていくものだ。日頃の現場から得るものが多い。お客様の表情や従業員との



会話、食後の皿にも、明日の経営につながるヒントがある。発見と改善を繰り返すうちに口コミが広がり、地域一番の繁盛店に成長していく。カレーハウス CoCo壱番屋は、こうして28年間、増収増益で経営を続けてきた。

経営は自己責任であり、経営者は何があっても言い訳ができない。人材不足や災害など、予測できないような課題への対応を求められる。いざという時のために備えておくことが必要だ。ビジネスを通じて様々な困難に直面するが、それでも経営は最高に面白い。困難の克服が、社員や家族、取引先、地域の方々など多くの人の幸せにつながるからだ。本日、素晴らしい発表をした皆さんの事業の発展を祈っている。

## 決勝大会審査員 ※肩書は開催当時

 吾郷 進平氏 経済産業省 スタートアップ 創出推進 政策統括調整官	 熊野 正樹氏 神戸大学 産官学連携本部 教授	 西川 八一行氏 西川 代表取締役会長兼 社長	 家田 治郎氏 CBC New Business Department 執行役員
 谷田 千里氏 タニタ 代表取締役社長	 藤崎 忍氏 ドムドムフード サービス 代表取締役社長	 北方 雅人 日経BP 経営メディア ユニット ユニット長	 松井 健 日本経済新聞社 日経産業新聞 編集長

## 審査員講評

### 社会課題を解決

吾郷 進平氏

どの事業も、ビジネスとして成立するのはもちろんのこと、様々な日本の社会課題解決に貢献できる、素晴らしいものだった。準グランプリを受賞したフツパーは、製造業の外観検査 AIソリューションを手掛ける。深刻な人手不足を解決する一手として、大きな可能性を感じた。

### 他分野への応用も

西川 八一行氏

スタートアップとアトツギベンチャーは、どちらもチャレンジだ。アトツギベンチャー部門賞を受賞した早和果樹園は、みかんの残渣の活用に取り組む。地域の良いものすべてを届けるという思いと実行力に感銘を受けた。同社の取り組みは他分野にも応用できるだろう。

日本経済新聞朝刊などに年間20回以上掲載

### ● 募集告知



2022年4月27日 朝刊



2022年8月12日 朝刊

### ● ブロック大会告知



2022年12月14日 朝刊



2022年12月14・15・16・19・20日 朝刊

### ● 決勝大会告知



2023年1月17日 朝刊



2023年1月30日 朝刊



2023年2月21日 朝刊

### ● 決勝大会結果報告



2023年3月22日 朝刊

### 関連メディアにも 多数広報展開

日本経済新聞 朝刊／日経電子版／BS  
テレビ東京「日経ニュースプラス9」／  
日経電子版「NIKKEI Briefing (中小経  
営NEXT)」／日経トップリーダー etc

未来に絆ぐ

4分後、新たな未来が動き出す。

未来を創る

第5回

スタートアップ・アツギベンチャーと企業をつなぐ

スタ★アトピッチ  
Japan

参加企業募集!

——— 一次締切 ———  
2023年6月30日(金)  
[最終締切] 8月31日(木)

応募資格 新規事業を立ち上げ、その成長に挑んでいるスタートアップ・アツギベンチャー

スタートアップ 創業10年程度の未上場のスタートアップ企業・団体の経営者

アツギベンチャー 新規事業などに挑む家業のアツギ経営者・候補者

こんな想いに  
応えられます

- 社会に向けて自社の事業やビジョンを熱く訴えたい
- 大企業との協業・事業提携を持ち掛けたい
- 共に事業を拡大させるビジネスパートナーを獲得したい
- 自身・企業を刺激する人的交流・ネットワークを作りたい
- ビジョンを共有する従業員のモチベーションを高めたい

応募について 「事業計画書」(書式自由、A4相当10枚程度)ほか書類数点をご用意ください。書類選考を通過し、ブロック大会に進んでいただく企業には、2023年9月下旬までに説明会のご案内をいたします。

詳細は右記サイトよりご覧ください

<https://staatpitch.nikkei.co.jp/>



NIKKEI

スタ★アトピッチJapan 事務局 TEL.03-6812-8652(土・日・祝日を除く 9:30~17:30) E-mail:staat@nex.nikkei.co.jp